

我が国のインターネットの概観(平成18年版)

～ 11の統計で見るインターネットの姿 ～

セキュリティ

⑪利用者の脆弱性対策状況

ウイルスチェックソフト導入(H16年-H17年)^{注5}

世帯:35.9%→35.7%

企業:81.0%→80.5%

⑩迷惑通信の状況

迷惑メール受信経験(H16年-H17年)^{注5}

PC22.6%→20.6%:携帯電話48.9%→23.8%

ウイルス被害経験(H16年-H17年)^{注5}

PC28.1%→21.7%:携帯電話0.9%→0.8%

⑦国際トラフィック

国内ISPと海外ISPのトラフィック交換量

(H17年11月-H18年11月)^{注6}

流入トラフィック量:57.1Gbps→94.5Gbps

流出トラフィック量:39.8Gbps→57.8Gbps

⑥トラフィック

ブロードバンドのトラフィック総量

(H17年11月-H18年11月)^{注6}

468.0Gbps→636.6Gbps

<1年で約1.4倍>

⑤インターネット利用状況

インターネット利用者

(H16年-H17年)^{注5}

7,948万人→8,529万人

【6歳以上人口の74.9%】

⑧コンテンツ情報量

JPT^メインのWebデータ量(H16年2月)^{注3}

13,609ギガバイト

【公共図書館4館分に相当】

<4年で約6.1倍>

⑨インターネット利用格差

世代別利用率(H16年-H17年)^{注5}

30代90.5%→92.8%:60才以上26.0%→32.6%

都市規模別利用率(H16年-H17年)^{注5}

特別区等78.2%→79.3%:町・村56.9%→68.4%

ネットワーク基盤

①研究開発費投入状況

情報通信分野研究開発費

(H16年度-H17年度)^{注1}

2兆5,926億円→2兆8,011億円

【研究開発費全体の約15.3%→15.7%】

<5年で約1.2倍>

②特許登録状況

情報通信分野の特許登録件数(H16年-H17年)^{注2}

日本:13,828件→15,037件

米国:35,555件→33,125件

欧州特許庁:10,915件→11,716件

【米国の約45%、欧州特許庁の約1.3倍】

④IPアドレスの割当状況

IPv4の割当状況(H18年12月)^{注4}

日本6.3%:米国56.8%

IPv6の割当ブロック数(H18年6月)^{注4}

日本91件:米国222件

③日本の標準化貢献度

日本人著者数割合(H19年1月)^{注3}

IETFのRFC:1.8%

W3CのRecommendation:2.5%

ガバナンス

注1:科学技術研究調査

注2:重点8分野の特許出願状況

注3:情報通信政策研究所調査

注4:APNIC HPより総務省作成

注5:通信利用動向調査

注6:総務省資料